

●里山農園の一斉草刈り 29日(土)9時30分集合で実施

この日も猛暑日で朝からかなり暑さでした。9名の皆さんが勢揃いしていただき早く来られた方から、それぞれに作業を始めていただいています。早くも汗びっしょりになっておられるお方もおいででした。この日はハンマーモアを2台運行するので能率はかなりアップします。肩掛け式の刈払い機だと機械の振り回しがかなり重労働になります。もちろん刈り取る高さに注意しながらの作業になりますので、集中力が途切れることなく発揮しなければなりません。自走式のハンマーモアは進行していく前方への注意力が必要になります。そこに全精力を注ぎます。それでも注意していてもスピードがあるので、運転操作が追いつかずにミスをすることが度々です。今回は2台が同場所での作業なので助け合うことができるので、ずいぶんと精神的にはリラックスしての運行になりました。肩掛け刈払い機の場合、「無理をせず休憩をしっかりととりながら作業することが大切です」と安全講習会での注意がありました。しかし、皆さんは講習会で教わってはいますが、気がはやって頑張りがんばってください。約三分の一を残して正午近くになり、作業を終了しました。次回は4日に刈り取ることになっています。ひと手間加えることで見違えるほどきれいに美しくなりました。猛暑の中頑張っていたいただいた皆さんご本当にご苦労さまでした。

●第2回理事会 28日 9時30分から15時30分 出席は 深田 播川 太田 大村 森島 森青代 大釜 山村の9名の皆さんでした。やむなく欠席されたのは有田(勤務)、坂田(先約)の2名でした。予定では午前中、定期総会(4月末に開催予定)はコロナウイルス感染防止のため会場も借用できず開催不可能のため、全社員43名に文書による議案を送付して、質問を受けましたが、要望意見が届けられたのみでした。結果基本的には提案通り決定されたと判定しています。今回の理事会でも経過を説明して、承認が確認されました。約5時間の審議時間で報告提案された理事会議案について議論が深められた点は次の10項目でした。①、予算書に基づく報告予算項目の整理を正確に修正訂正すること。②、会員名簿の管理事務の不正確さが続いているが、理事各位の気づきの必要。そして情報の共有、そのための連絡を相互にきちんと行う、などの必要性を確認。③、里山農園の活用は、草刈り程度とすること、高齢化と体力低下などを考慮して財政問題を大きな課題にしない程度での管理運営にとどめること。④、結成25周年事業は記念誌の発行を行い、式典は社会情勢からみて未開催とする。⑤、炭焼き体験は一窯分を実行し、窯管理を継続すること。⑥、黒豆味噌づくり体験は、講師を招き京田辺市内で実行できる方向を検討する。⑦、理事役員任期切れに伴う新年度役員体制は留年を基本とすること、役職退職者は後継者を立てることとし、2021年2月11日(木)までに進退をとどけること。⑧、2020年理事の役割分担などの提案は意義なく了承されました、これまでになく全員の熱心な発言が続きました。

●会誌49号の原稿募集始め 49号は特に、やましろ里山の会結成25年に当たってと位置付けて以下の三つの項目を設けて原稿募集を行います。【1】印象に残ったイベント(取組)について。【2】イタセンパラ復活について。【3】仲間の輪を大きくするについて。【4】異常気象について ・熱中症対策 ・コロナウイルス、と予定しています。この際に投稿をお願いします。用紙はB5で、書式は上下左右の空白24mmとし、文字ポイントは10.5明朝体でメールを送付いただくと幸いです。もちろん原稿用紙での寄稿も大歓迎です、よろしくご協力お願いします。今回は投稿者の顔写真を同封いただきますようお願いいたします。事務所においでいただけますと撮影可能です。その場合ご連絡をください。原稿締切日は9月30日を予定しております。

●カヌー体験参加希望者 15家族全員が参加可能に 子供たち19名の規模に 9月12日(土)9時30分集合

8月に実行した魚とりのチラシで参加募集を行いましたところ、定員ちょうどの15家族の応募がありまして、応募者全員の皆様にご参加いただくことになりました。ご案内メールをお届けしておりますので、時間厳守でご参加ください。なお当日は食事など用意しておりませんので、必要なお

方はご持参いただきますようお願いいたします。プログラムでは正午過ぎ終了予定となっております。ご了解をお願いします。

●**第25回環境講演会 9月6日(日) 13時会場** 猛暑の8月が過ぎたと一安心すると、台風シーズンになって、二百十日とか二百二十日になりました。9号がそれだと思えば台風10号が接近中、本土上陸の可能性が高く、史上最高クラスの風速とか言われています。近畿地方を避けてくれるように願っています。こうした中で開催する今回の講演会は、時期と内容が重なり合っただけの機会と考えられます。講師は淀川河川事務所の専門官がお越し頂けます。いいお話を期待しています。こぞってご参加をお願いします。コロナウイルス感染予防のため入場者数を制限させていただき、先着順で、満席になり次第お断りとなりますので、ご了承ください。会場は13時となっておりますのでお間違いのないようお願い致します。

●**竹蛇籠の製作講習会は9月13日を初日に予定** 昨年まで製作の中心となって引っ張って来てくれた福井さんが全面的にご参加いただけないことになって、まさに非常事態が予想されます。各位におかれてはこの際大きなご支援をよろしくをお願いいたします。計画しています土曜日や祝日を10月末までに27本の製作を完成させるためにはそれぞれ2本の完成を達成し続けなければなりません。相当厳しい日程と予想されます。このあたりの事情をご理解いただきまして、昨年以上のご支援をお願いいたします。作業開始にあたって竹の選別は9月3日の午後に実行し切り出して10日に玉水浜に運び入れを予定しています。それまでに竹割機や幅精製機、ひび入れ機などの点検設置、および諸道具の用意、作業会場の整理整頓などを行います。ご協力をお願いします。

●●**中聖牛設置の取組の狙いについて竹門先生からいただいた説明文を掲載しています。ご理解いただきご協力をお願い致します**

● 22 《一般研究3年目の研究計画の概要》

前年に施行された伝統的河川工法による周辺の地形の変化を出水後に調査し、河岸浸食抑制のために果たした役割を評価する。またこの地点の河川生態系に対して与えた影響について、生息現場構造や生物群集を調査することで解析する。

また、15-6KP 付近の試験施工現場において、物理環境と生物環境に関するモニタリング調査を行う。

● **組みあがりました中聖牛の骨組み 第4群第1基目 本川設置は12月5日～6日**

